

ふれあいトークで出された意見に対する考え方

開催日：10月26日から11月6日

開催場所：各地区まちづくりセンター

頁	項目	意見	考え方
-	全体	文章の中にアルファベットやカタカナの表記があるが、こういうものは日本語にしてもらいたい。	用語の定義について解説をつけ、理解しやすいようにします。
-	テーマ別戦略におけるKGI	KGIがどのようなものなのか簡単に説明をしていただきたい。	総合計画の進捗管理の部分に、KGIとKPIの用語の定義や運用について説明するページを追加します。
3	垂井町の将来像	「住民、議会、行政がそれぞれの役割と責任を果たしながら」とあるが、それぞれの役割と責任とは具体的に何を指すのか。	まちづくり基本条例に定めている、住民、議会などの用語の定義を解説として追加します。 また、資料編にまちづくり基本条例と総合計画条例を添付します。
3	垂井町の将来像	「人口減少に挑戦」という表現があるが、もう少し説明が必要ではないか。	「人口減少問題に挑戦」に、文言を修正します。
11	将来の都市構造	将来の都市構造の「将来」とはいつのことなのか。第5次総合計画と内容が同じだとすると、第5次総合計画の構想があまり達成できていないということになるが。	「将来」とはもちろん10年後を指していますが、10年で計画が全てできるとは限りません。国道の問題であれば国、県道なら県の所管であり、それぞれと協議をしていかなければならないので、時間がかかるものもあります。 3-2道路の戦略のねらいの中に国と県との連携を強化するという記述を追加します。
17	総合計画の進捗管理	将来ビジョンに向けて具体的にどうしていくのか、が住民としていちばん知りたい部分である。それについてはどのように住民に示していくのか。アンケートの実施やこのような会を再び開催することを考えているのか。また、まちづくりは行政だけでなく、住民・議会・行政が一体となって行っていくことが大切ではないのか。	総合計画の進捗管理の中に、毎年の総合計画の進捗状況を公表することとし、進捗管理スケジュールを改めます。
28	1-1 協働	町に住んでいる人と町の職員との交流が少ないのでもっと交流できる施策を作してほしい。	地域のまちづくり活動への積極的な参加については、施策の中で検討します。
31	2-1 防災・減災	対応する災害のなかに放射能汚染もぜひ加えていただきたい。	主要課題に原子力災害や他国からの脅威に関する記述を追加します。

頁	項目	意見	考え方
31	2-1 防災・減災	河川等の水害対策について記述がないが、これからどのように考えていくのか。	主要課題や戦略のねらいの中に、河川災害対策に関する記述を追加します。
31	2-1 防災・減災	栗原の水害対策をどうするのが表に出てこない。もっときちんと書き込むべきではないか。	
36	3-2 道路	昔、現在の太田信用金庫の前の交差点の右折対応をしてもらいたいという要望があったが、その時に地下道を壊すことによって東西に関しては右折対応してもらえた。最近ではアオキとか薬局が出来たことで南北の交通が滞るようになったので何とかしてほしい。	県道については主要地方道の右折対応をしっかり作って欲しいという要望を出しています。 3-2道路の戦略のねらいの中に国と県への要望活動に関する記述を追加します。
47	4-3 観光	役場移転後のまちづくりについて、観光協会の事務所をこの垂井地区のどこかに設けたいと考えている。そのためには観光協会の自立が必要。	観光については、観光協会に押し付けるのではなく、観光協会が自立するための支援をしていかなければなりません。併せて、観光の地域での受入れは大きな課題となっています。
47	4-3 観光	なぜ祭りをやるのか、周りに対してきちんとした説明がなされていないなど、問題があると感じている。少し時間はかかると思うが、祭りや地区の住民との関わりは、最大のテーマと認識している。	そこで、戦略のねらいに、地域住民、観光協会、事業者の連携強化により受入体制の充実や地域経済が潤う体制づくりの強化を追加します。
47	4-3 観光	食べるところが増えると観光客も増えると思うので、町の主導で改善してもらいたい。	
47	4-3 観光	県が関ヶ原に何十億と投資したことで、観光客が増えることが予想される。垂井は関ヶ原とどのような形で観光を進めていくのか。	主要課題の中に、関ヶ原合戦をテーマにした大きな事業に対する広域的な取り組みについての記述を追加します。
61	6-4 文化	国府に関連することだが、現在、町で簡単にできることがいくつかあると思う。なぜそれを手掛けないのか。	整備が出来ていない状況で案内標識を設置しても効果があまりありません。美濃国府に関しては、将来の都市構造の観光交流拠点の中に記述を追加します。
61	6-4 文化	史跡の保存と活用は難しい課題だと思うが、学びと交流の拠点施設を作れば活かすことができるのではないかと。府中は交通渋滞もなく、観光客を市街地に呼び込み、中山道や曳山、桜のお祭りなどに貢献できる。学びという点では子どもから大人まで活用できる場になると思う。	
63	7-1 行政運営	クリーンセンターや防災のように、町独自でやるには問題がある部分があると思う。近隣市町村や県等、広域的に考える項目があったほうがいいのでは。	関係自治体の連携については7-1行政運営で明記しているが、特に観光においては、県が関ヶ原に大きく力を入れているため、4-3観光の主要課題の中に、関ヶ原合戦をテーマにした大きな事業に対する広域的な取り組みについての記述を追加します。